

学校目標『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う西与賀っ子』の育成



令和 8月 5月14日(木)
文責 校長 大石 文枝 第4号
☎ 0952-23-6300



㊦ここにあいさつする子 ㊧しっかり勉強する子 ㊨ろこんで働く子 ㊩からだをきたえる子 ㊪ながり学び合う子 ㊫ころをみがく子

■ 健康に気を配る生活を!

ゴールデンウィークが終わって、新たな再スタートといった学校です。子供たちの中には、ゴールデンウィークが楽しかった分、どことなく元気がない子も見られます。学校は5月24日(日)に開催する運動会に向けて、体力をつかう時期に入っています。このような時期だからこそ、健康に気を配った生活を送ってほしいと思います。子供自身が「自分の健康は自分で守る」ためにどんなことができるのかを考え、そして、実践(「考えてやってみよう!」)ができるように家庭でも支援をしていただければと思っています。

ここでいう健康な子供とは、毎日の生活が規則正しくでき、自分自身で健やかな生活を心がけている子供です。例えば、夜は、次の日のために早く寝ているでしょうか?起床、自分で起きていますでしょうか?朝食は、1日の大切なエネルギー源です。しっかりと食べているでしょうか?他にも排便、洗顔、歯磨きなどの基本的な生活習慣が身に付いていれば、健康でやる気のある1日の始まりとなります。

子供の生活のリズムの乱れが話題に上るようになって久しいのですが、生活リズムは人が生きるための生体のリズムと深く関わっています。自然と夜眠くなるのは、体が睡眠を欲する仕組みで、成長ホルモンも夜寝ている間に活発に分泌されます。「寝る子は育つ」というのは理にかなった言葉なのでしょう。体温や血圧、ホルモンの分泌などの働きは、1日・24時間を周期に活発になったり不活発になったりしているそうです。当然この生体リズムは自分の意思で変えられるものではないので、これを無視して生活のリズムを乱していると、健康を害してしまうことにつながります。ですから、まずは1日のスタートである朝を大事にしましょう。今の子供の現実を見つめ、何ができて、何ができていないのかをご確認ください。できていないことがあるのであれば、子供自らが考えて、動けるようにご支援ください。これも主体性を伸ばすために大事なことです。よろしくお願いいたします。

■ 5年生 いさはや九電みらいの森へ

5年生は、4月28日(火)に諫早の九電みらいの森へ行って、環境学習をしてきました。5年生は、社会科で様々な産業(農業・漁業・工業・林業など)を学習します。今年は、この学習を4月に実施できたので、「森の役割」の話(二酸化炭素を吸収し、酸素を出す。水を蓄える。災害を防ぐ。)は、今後社会科で学ぶ林業の予備知識となりました。また、「地球温暖化」の



森のクイズに答える子供

話も、温暖化を防ぐためには、できるだけごみを減らしたり、水や電気の無駄をなくしたり、物を大切にしたりしなければならないという数日後の「環境ISOキックオフ宣言」につながるものでした。その後の森の散策は、森にまつわるクイズを解きながら、班の仲間と森林学習を楽しんでいました。また、苗木の観察や森の管理の一つである「下草刈り」の体験もすることができました。豊かな自然を守るのも壊すのも自分たち次第であることを実感し、これまでの行動を見直す機会となると共に、地球のために自分ができることを考えた1日でした。

■ 環境 ISO キックオフ宣言

4月30日(木)に、全校集会で環境 ISO キックオフ宣言を行いました。集会を担当したのは、環境・給食・美化委員会の5・6年生です。行動目標として具体的に「節水する・電気を消す。裏紙を使う。両面印刷された紙は集める。食べ物に感謝して食べ、食べ残しを減らす。」ことを訴えました。クイズや劇を通して分かりやすく伝える工夫がさすがでした。昨年度は、環

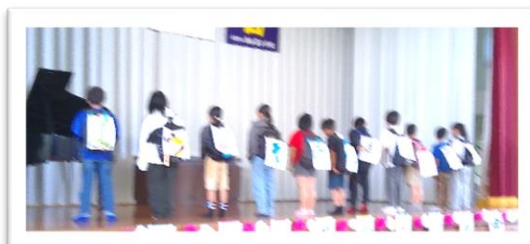
境 ISO 校の認定を更新してもらいましたので、今年度も、環境保護のために、節電や節水、ゴミの削減、物を大事にするなどの取組を推進していきます。子供たちが環境問題を自分事としてとらえ、「どうすべきか?」「どんなことをやっていくのか?」を自分で考え、実行できるように支援していきます。ただ、環境問題は、学校だけでなく、家庭や地域社会など地域一帯で取り組まなければならない問題です。ぜひ、ご家庭でも学校の取組について話題にして、子供たちがのびのびと価値付けしていただけないでしょうか。そうすれば、豊かな自然や環境を大切にできる心が大きく育つのではないかと思います。



クイズ「どういうときに電気を消すでしょうか?」

■ 1年生を迎える会

5月1日(金)に、西与賀小に入学してきた1年生を全校の子供たちが歓迎する会「1年生を迎える会」を開きました。入学式からおよそ1か月、6年生と手をつないで体育館に入場してきた1年生は、学校にも慣れたためか、堂々としていました。また、6年生からプレゼントされたメダルを首から提げ嬉しそうでした。会は、総務委員会が考えた「ようこそ西与賀小学校へ」のサプライズメッセージからスタートしました。それから、全校ゲームの「じゃんけん列車」で、ピアノの伴奏が止まったら、じゃんけんをして負けた人は勝った人の後ろにつながります。じゃんけんの勝ち負けに学年は関係ありません。笑顔で勝ち進んで最後に先頭として残ったのは、7人でしたが、そのうち1年生も2人入っていました。きっといい記念になったことでしょう。校歌をみんなで歌った後は、1年生からの出し物でした。「お兄さんお姉さんいつも優しくしてくれてありがとう。私たちは、3匹のカエルと一緒にがんばっています。ケロ!ケロ!」今年の入学式で登場したカエル(マチガエル、フリカエル、カンガエル)に扮した1年生のかわいらしいこと、会場は大いに盛り上がりました。入学式で学校長の式辞の中に登場させたカエルが見事に活躍してくれていて、心から嬉しくなりました。後で職員から「どうして去年は入学式にカエルは来てくれなかったのかな?と2年生がつぶやいていましたよ。」と聞きました。去年は、子供たち全員の名前を書いた「輪飾り」を見せて「輪飾り」のように友達と仲良くつながっていきましょうという演出でした。カエルは、今年バージョンですが、他の学年の子供たちにも気に入ってもらっているようで、何よりです。全校の一人一人が3匹のカエルと仲良くなって、自分でできることを精一杯やっていくと大きな成長を遂げられると思います。



ステージに上がるのも工夫を凝らして!



かわいい1年生の台詞に、拍手喝采!!

■ 春の遠足

1年生を迎える会の後は、春の遠足でした。1年生も、往復10km 弱の道のりをがんばって歩くことができました。6年生が1年生と手をつないで、行き帰りのお世話を一生懸命にしてくれたからでしょう。それだけでなく、6年生は、お弁当を食べるときも遊ぶときもよく1年生の面倒をみてくれていて感心しました。他の学年の子供たちも、友達と遊具を使って遊んだり、芝生の上を走り回ったりして思い切り体を動かして楽しんでいました。



1・6年生一緒にお弁当



高い所もへっちゃら!